

2018. 8. 3 総合教育会議 資料

**頑張る学校応援プラン 主要施策 1 「学力向上に責任を果たす」
【取組 1】「学びのスタンダード」による授業力の向上**

川俣町立川俣中学校 教頭 遠藤博晃

1 「教師同士の学び合い」を促す本校の取組**(1) 「授業スタンダード」に基づく授業のイメージの共有と授業実践**

重点事項

- 授業の導入における「生徒の問いを引き出す工夫」
- 教科の見方・考え方を働かせた言語活動の工夫
- 学んだことを振り返る活動の工夫

(2) 「タテ持ち」による教科指導の実践

- 数学科における「タテ持ち」の実践 (H29)
- 国語科・数学科における「タテ持ち」の実践 (H30)

【川俣中学校の「タテ持ち」(数学科)】

	1組	2組	3組	4組
第3学年	A先生	A先生	B先生	C先生
第2学年	A先生	C先生	B先生	
第1学年	C先生	A先生	B先生	B先生

(3) 「教科部会」の定期的な実施 (時間割への位置づけ)

- 授業の進度の確認
- テスト問題の検討と採点基準の確認
- 指導案の検討
- 授業で困っていることの共有と解決への話し合い

2 「学びのスタンダード」推進事業パイロット校として**～子どもたちの学力向上のために実践したいこと～****(1) 授業づくり**

- 単元全体の学びを具体的にした上で、その中の1時間をどう捉えるかが重要
- このような考え方をこれまで以上に意識することにより、生徒の資質・能力の向上に努めたい

(2) 「家庭学習スタンダード」の活用について

- 「自己マネジメント」力を身に付けさせたり伸ばしたりする機会を、教育活動の中で教師が敏感に捉えていきたい

(3) 教師同士の学び合いの促進について

- 先生方の「頑張りのベクトルとポイント」を具現化するための指針として「授業スタンダード」を十分に活用し、教師同士の学び合いを促進していきたい
- このことにより、生徒に学ぶ意義や教科のおもしろさをもっと身近に感じさせ、生徒の学力向上につながるものとする